

タカノケフサイソガニの脱皮

■タカノケフサイソガニの脱皮の観察

タカノケフサイソガニの脱皮を観察した (Fig.1)。
 採集したタカノケフサイソガニを容器に入れていた
 ところ脱皮が始まり、数分で終了した。小型のカニの
 ためか脱皮は短時間で終了し、脚を古い殻から抜き出
 すのもスムーズであった。脱皮後の「ぬけがら」の缺
 足には、タカノケフサイソガニの特徴である毛の房が
 残されていた (Fig.2)。本体の毛の房は白色であつた
 (Fig.3)。他にも脱皮後の抜け殻が観察され (Fig.4)、
 今の時期は脱皮が盛んな時期であることが推察された。



Fig.1 脱皮したタカノケフサイソガニ ※右下が抜け殻



Fig.2 抜け殻に残る毛の房

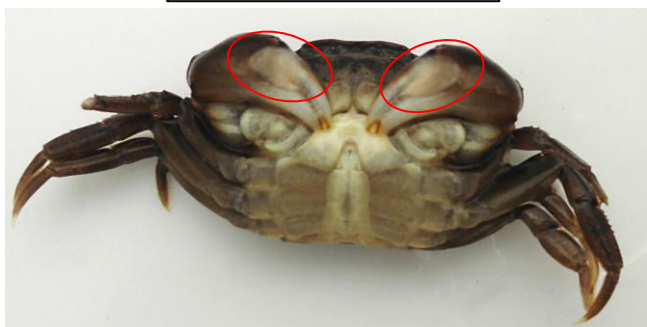


Fig.3 脱皮後の白い毛の房 (赤囲み)



Fig.4 採集した抜け殻

■採集したイシガレイは一匹のみ

今回の調査は、水位が高く強い風の吹く日であった。
 導流堤の水門付近、河口、潟湖内で採集を試みたが、
 水門付近で1匹採集したのみであった (Fig.5)。手網で
 採集できない場所にいる可能性を考え投網も活用した
 が、採集することはできなかった。

昨年は水門付近に泥が堆積し、砂地を好むイシガレイ
 を採集できなかったが (レポートNo. 441参照)、今年
 は砂地のままである。風や波の影響を避け、より深
 い場所へ移動している可能性が考えられる。

採集した個体は全長4cm程であった。これまで、各年
 の調査で採集したイシガレイの全長の平均値 (4月) の
 範囲内であった。

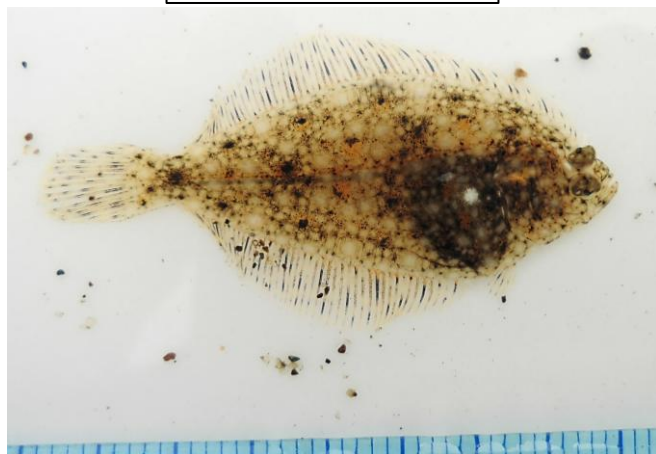


Fig.5 水門付近で採集したイシガレイ